

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力計画供与式報告

ノシリ・フスラヴ行政郡ナウルズ地区第1地域病院改修及び医療機材・備品整備計画

平成28年4月14日、「ノシリ・フスラヴ行政郡ナウルズ地区第1地域病院改修及び医療機材・備品整備計画」の供与式典が行われました。本案件実施対象のノシリ・フスラヴ行政郡は、首都ドゥシャンベ市から南へ車で約4時間の場所にあり、タジキスタン南部に位置する有名な泉「チルチョルチャシュマ（44の泉の意）」が位置する場所です。

本計画対象の、ナウルズ地区第1地域病院は、1961年に設立され、年間約1,200人の患者が訪れます。ソ連崩壊後から適切な改修が施されていなかった同病院の建物は老朽化が激しく、医療機材も充分ではありませんでした。そのため、同病院で必要な検査・処置が受けられない患者は、約15km離れたノシリ・フスラヴ行政郡中央病院、もしくは約100km離れたクルガンテツパ市内の病院まで通う必要がありました。今般、本計画を通じて病棟の改修及び医療機材・備品の整備を行ったことにより、同病院ではより質の高い医療を提供できるようになりました。

供与式中、卒業前実習を同病院で行っている医学生からは、新たに改修された病院と医療機材により、充実した実習ができたことへの感謝とこれからも一生懸命に実習に励み、将来は地域の人々の健康のために従事したいとの言葉が述べられました。



供与式にてスピーチを行う田村書記官。



日本の支援を示す日章旗プレート。大理石で作成されており、病院の壁の目立つ場所に掲示されていました。



本計画により供与された超音波診断装置。



供与式には、行政郡関係者、病院関係者をはじめ、病院の敷地内に入りきらないほど大勢の地域の人々が参席しました。